



## あなたのご支援が、 横国の未来を創ります。

横浜国立大学では、世界に貢献する高い志を持った  
学生や若手研究者の育成のために様々な支援を行っています。



### 横浜国立大学基金

本学の大学憲章に掲げる、実践性、  
先進性、開放性、国際性をより高め、  
教育・研究環境の向上及び社会  
貢献活動の推進を支援。

### 横浜国立大学学生修学支援基金

横浜国立大学の学部又は大学院に所属し、経済的理由により  
修学に困難がある学生を支援し、グローバル新時代に求められる  
多様な視点を有する広い専門性を持った実践的人材、および高い  
応用力と発想力を有する高度専門職業人の育成の推進を支援。

地域と世界の未来を創る若者を育み、教育・研究を通じて横浜国大が社会に貢献し続けるために、皆さまから  
のご支援が必要です。お気持ちを寄附金に託して、あたたかいご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



寄附したいと  
お考えの皆様へ

付属の振り込み用紙よりお振込みください。  
横浜国立大学への寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。



横浜国立大学卒業生・基金室

TEL 045-339-4443 FAX 045-339-3034

E-mail YNU.kikin@ynu.ac.jp URL <http://kikin.ynu.jp/>



# 横国の未来 皆で応援!!

*Let's support the future of YNU!*



横国の支援-奨学金-の  
おかげでさまざまな体験ができ  
自分の世界が大きく広がった

# YNUは在校生・卒業生の ねがいを実現します!!

Realize the wish!

横浜国立大学は、これまでの横国の伝統を継承しながら、未来に向けて大学がさらに飛躍し、在學生・卒業生の皆さんが母校に誇りを持っていただけるような大学を目指すために、皆さまからのご支援をもとに大きく3つの事業を推進していきます。

**1** 世界の大学  
ランキングを **300** 位台へ  
年間 **1.3** 億円  
研究力を誇るグローバルエクセレンス大学を目指して

## 研究力UP (研究の影響力を上げる)

地域と世界の持続可能な社会の実現のための研究を行い、実践的学術の国際拠点を目指す。



1-1

## グローバル新時代に対応した人材育成の強化

3,000 万円 / 1 年間

世界に貢献する高い志を持った学生の育成のために、積極的な海外交流の場を提供します。海外交流を通じて、国際協力にたずさわる将来の担い手を育成します。

### 日本人学生の海外派遣支援

600 名 1,500 名



### 留学生受け入れ人数の倍増

1,000 名 2,000 名



1-2

## 学術論文の引用(Citation)を高める

9,000 万円 / 1 年間

高い学術論文の成果をあげるために、若手を含む教員の国内外の研究機関との連携強化のための研究支援体制を構築します。同時に、国際的な情報発信力を強化するための方策を行います。

### 若手研究者の 海外派遣サポート

7,000 万円 / 1 年間

世界の有力大学や海外著名学会への派遣を通じて、若手研究者の国際経験を養い、海外とのネットワークを作成します。1年間14名派遣。



### 研究成果の 国際的発信の支援

1,000 万円 / 1 年間

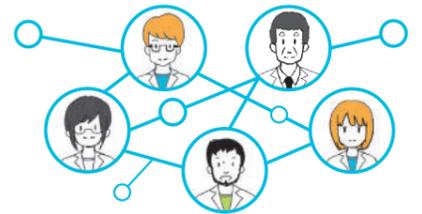
学術論文の研究成果発信をサポートし、論文のオープンアクセス化等を通じて世界の学術研究の発展に寄与します。1年間20名支援。



### 国際広報活動

1,000 万円 / 1 年間

研究成果の国際展開を行うため、戦略的に広報活動を行い、海外の研究者とのネットワークを強化します。



1-3

## 本学の強みのある研究分野をさらに強化する

1,000 万円 / 1 年間

本学の最先端の研究分野をさらに強化するため、ハーバード大学など世界的研究者の招へいを行います。海外からの招へい研究者との研究活動を通じて研究者のみならず、大学院生が世界的研究者との研究協同を経験する教育効果も期待できます。1ヶ月間で4名の招へい。



## 2 充実したキャンパスライフを

キャンパスの整備を行い、学生の能力・専門性を活かし育てることができる環境を創ります。校内全体が緑に溢れた魅力あるキャンパスのさらなる充実をはかり、国内外から広く優秀な人材を確保し、質の高い教育研究活動を行います。

年間 0.2 億円



2-1

課外活動の充実

1,000 万円 / 1 年間

グラウンド整備など学生の課外活動のために支援します。

2-2

施設のバリアフリー化支援

1,000 万円 / 1 年間

誰もが利用しやすい施設とするべく整備を行うために支援します。

## 3 意欲と能力ある学生が希望の教育を受けられるように経済支援の充実を

経済的な理由により修学に困難がある学生を支援します。この事業により、学生がより勉学・研究に集中することができ、安心して学生生活を送ることができます。これらの学生が社会に出て活躍することにより、将来の社会の発展に貢献します。

年間 0.5 億円



3-1

入学時スタートアップ支援

750万円 / 1 年間

大学の新生活へのスタートアップ支援を目的とする給付型の支援です。経済的な理由（対象：世帯年収200万円未満）により学業をあきらめることのないよう、成績優秀な学生がノートPCの購入等の学習に必要な環境を整えることに役立てられます。（平成30年度より部分的に試行開始）

対象：25名（30万円を支給）

3-2

卒業バックアップ支援

250万円 / 1 年間

勉学意欲があるにも関わらず経済的理由によりやむを得ず留年した成績優秀な学生等に対し、年度内卒業に向けた支援を目的として給付型の支援を新設します。

対象：若干名（60万円（月額5万円）を支給）

3-3

大学院生支援

1,000 万円 / 1 年間

成績優秀な大学院生が勉学・研究活動に専念し、経済状況に関わらず多様な学生が活躍することのできる支援体制の整備を行います。

対象：6名（月額15万円を支給）

3-4

YNU奨学金

3,000万円 / 1 年間

優れた人材育成を目的としたYNU独自の奨学金を用意します。未来を担い先導していく人材育成のために取り組んでいきます。

母校の発展のために、私たちが横浜国立大学基金を応援しています。

MESSAGE from FUKYUKAI

### 横浜国大を世界水準の大学へ!! プレゼンス向上を目指した取り組みに 同窓会として最大限の支援を推進しよう!!

富丘会 理事長 宮田 芳文

我が富丘会は、大学に対し連携講義で社会人として活躍する先輩の体験などを通じ、将来の道を考える起点にする機会を提供してきました。また就職相談員による丁寧で献身的な指導を継続してきました。さらに、就職面接大会など多くの卒業生による、面接時での具体的な指導をすることで、学生の皆さんからも高い評価を得ています。また将来の大学への支援の基盤として「横浜国大経済人の集い」（学部を超えた経営層、若い起業家など）や校友会と連携し「YNU横浜国大経営者の会」を新しく作り、大学とのコラボレーションを図っていく行動を推進してきました。



経済学部1978年卒  
元資産管理サービス信託銀行  
副社長

しかし、これからは、従来にもましてグローバルに活躍していく人材の育成や、優秀な留学生の受け入れが求められており、また企業から支援されるような魅力的な大学になるべく大学自身のプレゼンスを向上し、大学ランキングの向上に向けた取り組みを強化していかなければなりません。大学もすべての教職員が総力で、改革推進していくことは、大前提であります。

こうした取り組みを実現させていくためには、大学の財政基盤の強化を図っていかなければなりません。

同窓会や校友会に何ができるかということを考えると、一体となり、同窓生個人や企業へ働きかけ、大学の基金に寄附を集め、有効に活用していただくことで、前述の取り組みを強化することで、まずは大学ランキングの500番以内を早急に実現していただきたい。こうした取り組みを皆さん一人、一人が理解していただき、大きな渦にして皆さんとともに推進していこうではありませんか!!



MESSAGE from MEIKYOSHIZENKA

## 実践的学術の国際拠点を目指す 横浜国大へ卒業生のエールを!!

名教自然会 会長 井上 誠一

横浜国立大学の理工学分野の教育・研究を担う組織は2学部・3大学院です。工学部は発足当初から工学基礎として理学分野をカリキュラムに取り入れた教育を行ってきた実績を踏まえ、数年前に「理工学部」に改称しました。また理工学部の一部と教育人間科学部の人間文化課程とが合体して全国的にも例のない「都市科学部」を創設しました。大学院では平成30年度に工学府を「理工学府」に改組し、「環境情報学府」も改編して、どちらも人間活動のグローバル化に対応した新教育カリキュラムによる教育がスタートしました。都市科学部に対応した大学院「都市イノベーション学府」では文理融合のユニークな教育が行われています。



工学部1966年卒  
横浜国立大学名誉教授  
公益財団法人  
横浜工業会理事長

今、全国の大学の理工学系の教育・研究の現場では深刻な事態が発生していることをご存知でしょうか。研究を担うのは研究室ですが、その主役である大学院生が研究力を発揮できなくなっています。それは、博士課程前期の1年次後半から2年次前半にかけての就活と、大学院生の定員管理が厳しくなっていることに原因があると考えています。

このような逆境にある大学の教育・研究・社会貢献を存分に遂行するために、大学は卒業生の力強い支援を必要としています。各同窓会は独自に大学支援を行ってきました。名教自然会も卒業生の力で大学支援を行っています。しかしまだまだ不十分です。今こそ大学基金の充実が急務です。大学基金によって研究力の向上、グローバル人材育成の強化、キャンパスライフの向上・就学支援等が実行できます。皆さんが専門性を身につけて巣立った母校、そこで育った若手人材が皆さんの後継者として、グローバル未来社会で活躍する、この好循環を活性化し確実なものとするこそが、大学が生き残る最強のシナリオです。大学基金を充実させるために皆で力を合わせて協力しましょう。



MESSAGE from YUSYOKAI

## 保護者、同窓会の力を結集して 横浜国大のレベルアップを!!

友松会 会長 芦川 弘

お子様の学校生活はいかがですか。学問追究に励んでいますか。学園生活を楽しんでますか。

保護者の方々は気になりますね。

只今、横浜国大では学長を中心に、校友会、3同窓会がスクラムを組んで「横国の未来 皆で応援!!」をテーマに大学の新たな創造に向かってスタートを切りました。

現在、我が国は少子高齢化による人口減少の拡大が驚くほどの速さで進行しています。これによる税収減の影響で、文部科学省の配分予算も年々大幅に縮小しています。本来大学として掲げる施策も実施できない。又は予算規模縮小を余儀なくされているのが現状です。

こんな状況の中ですが現在、YNU校友会、各同窓会ともに会費をいただき、学生の皆さんの充実した大学生活等のため有効に活用させて頂いておりますが、今の横浜国大の状況で、**横浜国大をより充実させ、さらに将来に向かってレベルアップするためには、資金的には難しいと思われ**ます。保護者、卒業生、関係者の強力な支援が必要だと思います。

在学している横浜国大生がより満足できる教育環境の改善、卒業生が誇れる母校を築いていくためにも資金として寄附をお願いします。

大学、校友会及び同窓会は、横浜国大のレベルアップの柱として、次のようなものを掲げました。

- グローバル新時代に適応した人材育成の強化
- 日本人学生の海外派遣支援、留学生受け入れ人数の倍増
- 大学のステータス向上（世界の大学ランキング向上）
- 大学の施設設備の充実・改善
- 学生の経済的支援（授業料、留学資金の補助など）

大学のレベルアップのためには大学自体の努力が第一ですが、校友会、同窓会が一丸となって支援することも大切なことです。教育学部同窓会友松会としても、学部学生が上記レベルアップの対象者であることは、当然だと思います。

ぜひ、横浜国大生として学ぶお子様のために、大学基金への寄附をお願いします。

友松会としても、大学のレベルアップのために、協力・支援を惜しみません。



学芸学部1963年卒  
元横浜市立本郷小学校  
校長

# グローバル・ エクセレンス大学を目指して



横浜国立大学 学長  
**長谷部 勇一**  
Yuichi HASEBE

横浜国立大学校友会 会長  
**杉田 亮毅**  
Ryoki SUGITA

## 大学が取り組む 研究・教育改革

**杉田** 近年、横浜国立大学の大学ランキングがやや低下していると聞きます。

**長谷部** 世界大学ランキング500位以内が、留学生の留学先を選ぶ際の目安となりますが、本学は今、その500位を下回っています。2007年には350位台につけていたこともありましたが、当面500位以内、やがては300位台への復活を目指し、研究と教育両面の足腰をしっかり強め、特色ある大学として伸ばしていくため、新たな取り組みを行っています。

**杉田** 研究への取り組みについてご紹介ください。

**長谷部** まず「実践的学術の国際拠点」を目標に置き、社会のニーズを見据え、単なる理論の研究ではなく課題発見・解決を志す実践的研究を目指しています。また先端的分野の研究に加え、長期的な視野に立った研究を見出していこうと考えています。先端研究の例では「先端科学高等研究院 (IAS)」におけるプロジェクト研究です。例えば光島重徳先生、三宅淳巳先生は水素エネルギーの社会実装、またサイバーフィジカルセキュリティ分野では、松本勉先生、吉岡克成先生らが先進的な研究を進めています。さらに、小坂英男先生と堀

切智之先生の研究室では、量子通信の分野で『Nature』に4本の論文が掲載されるなど世界から注目される実績を上げています。その他にも、工学研究院の渡邊正義先生の燃料電池の研究は平成29年に文部科学大臣賞を受賞されています。

**杉田** そうした先進的な研究については、社会的認知をしっかりと行っていくことが重要ですね。

**長谷部** 大学にとって重要なのは、研究基盤を充実させるとともに、研究の影響力を測る「サイテーション (論文の被引用回数)」とレピュテーション (評判・知名度) を向上させることです。これらを向上させるために、国際会議への発表や有力国際ジャー

ナル投稿への支援を行い、若手の先生方や大学院生を育成するための取り組みを行っています。今後の有望な分野として、福田淳二先生は毛髪再生医療に取り組み、平成28年には文部科学大臣表彰・若手科学賞を受賞しています。これはすでにハツカネズミでの実験に成功し、実用化の可能性も見えてきました。こういった実績を上げるには、世界の研究者との交流が不可欠です。今後、横国の未来を担う若手の研究を活発にするために、若手研究者の海外派遣をサポートしていきます。

その他に、建築分野では、本学の西沢立衛先生とともに建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を受賞された妹島和世先生を教授に迎えました。本学の強みの研究分野をさらに

強化することも行っていきます。

**杉田** 教育面での取り組みについてはいかがでしょうか。

**長谷部** 横浜国大から世界に羽ばたく学生の育成のために、積極的に海外交流の場を提供しています。グローバル教育として、多彩な留学プログラムや海外提携校とのダブルディグリーに加え、全学部生が履修可能な世界の歴史・経済・文化等を学ぶ「世界事情科目」や留学生を交えた実践的英語教育である「自立英語」などの科目を設けています。さらに、今後留学生の受け入れを増加させ、今以上に海外交流の場を提供することで、真のグローバル人材を育成していきます。

## 大学への寄附の必要性

**杉田** これまでお聞きしたことを実現するためには、財源が必要ですね。

**長谷部** おっしゃるとおりです。もちろん自主財源の確保にも努めていきますが、平成16年に国立大学法人へ移行して以降、毎年1%ずつ運営費交付金が減額され、この14年で約10億円の減収となっています。そこで、現在、年間2億円募金を目標に掲げ、寄附のご協力をお願いしているところです。

**杉田** 校友会や各学部同窓会と相談しながら、産学連携だけでなく資金面でも、微力ながら大学を支えていただければと思います。本日はありがとうございました。

## 卒業生とYNUをつなぐアンケート結果報告

2017年3月に、本学Webサイトにおいて本学卒業生・修了生に対して、皆様の母校に対する思いや期待等を知る契機のためのアンケートを実施しました。600名を超える皆様にご協力を頂いたアンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

その他の項目については、大学ウェブサイトからご覧ください。



### Q. 卒業生として誇りを感じる時

- 1位 卒業生の活躍が報道されたとき
- 2位 教育・研究活動が社会から評価されていると分かったとき
- 3位 常に横浜国立大学の卒業生であることの誇りを感じている etc.

### Q. 在籍当時に誇りを持っていた点

- 1位 横浜国立大学の伝統・校風・文化
- 2位 企業・地域・社会からの評価の高さ
- 3位 恩師・友人の存在

### Q. 在学時代にできた仲間・コミュニティ

- 1位 ゼミ・研究室の仲間
- 2位 クラスの友人の仲間
- 3位 クラブ・サークル活動の仲間



## 日経HR 就職力ランキング



総合

6位

- 行動力ランキング 4 位
- 対人力ランキング 17 位
- 知力・学力ランキング 10 位
- 独創性ランキング 7 位

企業は採用した学生をどう評価し、その出身大学にどのようなイメージを持っているのかについて、上場企業等の人事担当者を対象としたイメージ調査で総合6位に。主体性・チャレンジ精神などの面で評価された。

出典：『価値ある大学 2019年度版 就職力ランキング』日経キャリアマガジン

## 受験生が評価する大学 グローバル(国際的)な イメージがある大学

関東・  
甲信越  
地区

2位



出典：『大学探しランキングブック2018』(大学通信)

## 生徒に 勧めたい 国公立大学



出典：『卓越する大学2018年度版』  
(大学通信)

14位

上場企業  
役員数

191人



出典：『本当に強い大学ランキング2018』  
(週刊東洋経済)

## 主要企業400社就職率



就職率

34.2%

出典：『本当に強い大学ランキング2018』(週刊東洋経済)

## 大学間協定数

137大学



42か国・地域

2018年5月1日現在

## 在籍留学生数

1,014人/



全学生数 10,072人中

※2017年11月1日現在

## THE 世界大学ランキング (日本国内版) 2018



総合

25位

- 教育リソース (Resources) 91 位
- 教育充実度 (Engagement) 43 位
- 教育成果 (Outcomes) 15 位
- 国際性 (Environment) 63 位

企業人事評価と研究者の評判調査による「教育成果」で高い評価を得た。2017年の33位から大幅にランクアップ。

出典：Times Higher Education (THE) 日本版 2018

## オープン キャンパス 参加ランキング



参加者数

全国 14位  
国公立 3位

出典：2019年度版『大学ランキング』(朝日新聞出版)

## THE アジア大学 ランキング2018



総合

200位

出典：『Times Higher Education (THE)  
Asia University Rankings 2018』



数字で  
知る  
YNU

## 国公立大学 最終志願者 ランキング (平成29年度)



6位

8,468人

出典：『PRESIDENT』(プレジデント)



## 校友会だより

校友会は、在学生のみならずが快適なキャンパスライフを送れるよう、大学等と共同して学内の施設整備を計画的に進めています。また、下記の行事を校友会単独または大学および各同窓会と共同して実施しています。

### キャリアサポート

キャリア教育から模擬面接まで、就職までの道のりをしっかりサポートします。

1年次  
ビジネスの  
基本を体感する

#### 「まなび座」

自分たちで問題を見つけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛える。

2年次以上  
海外で働く先輩から  
グローバルビジネスの  
基本を学ぶ 基本を体感する

#### 「グローバル化と日本人講座」

海外勤務経験者をゲスト講師に、異文化理解とコミュニケーションを学ぶ。

#### 「グローバルビジネス実践論」

主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる実践講座。

3年次  
就職活動に  
備えて

#### 「個別就職相談、模擬面接」

「現役OB/OGによる模擬面接会」では集団面接も体験でき、結果もフィードバック。



### アプリコンテスト

スマホやタブレットを中心としたアプリの開発力・企画力を競うコンテスト。IT教育およびキャリア支援を目的としており、学生のITに対する関心を高め次代を担う意欲あるプログラマーや起業家候補の発掘・育成を図ることを目的に開催。審査は、IT業界の第一線で活躍する方が行います。



### 横国Day (横浜国立大学ホームカミングデー)

横浜国立大学ホームカミングデーは、同窓生、学生、教職員、本学に関係のある人々がキャンパスに集い、種々のイベントに参加することによって旧交を温め、また、学部、世代、属性の垣根を越えて親睦を深めるものです。この『繋がり』がYNUを支えていく礎になることを期待しています。



## YNU ニュース

### 横浜国立大学の最寄り駅 相鉄・JR 直通線 新駅名称が「羽沢横浜国大」と発表

2017年12月11日、相模鉄道株式会社は、2019年度にJR東日本と相互直通運行を開始する新線上で開業する新駅の駅名を「羽沢横浜国大」とし、今後関係自治体との協議を進めていくことを発表しました。

#### 中村理事(地域担当)メッセージ



羽沢横浜国大駅外観(イメージ)

羽沢の貨物駅に隣接する敷地に誕生するこの新しい駅は、大学の北門、西門から最も近い駅となり、大学へのアクセスは格段に向上することが期待されます。今回の駅名発表は、大学の存在感という面でもとても意義のあるものです。地域との連携

を重視する本学は、新駅の開業を契機に、羽沢地区を中心とする神奈川区内の地域のまちづくりと強く連携していきたいと考えています。大学では相鉄ホールディングス株式会社および相模鉄道株式会社と連携し、「神奈川東部方面線開業に関わる地域経済効果」等の研究を進めており、新駅開業で大きく発展することが期待される当該地区とともに、大学がより発展していくように、今後いっそう尽力する所存です。